



・・・総務委員会だより・・・

広島県バウンドテニス協会 NO.215 2020年10月19日(月)

庭の“きんもくせい”の香りがあたり一面に漂い、秋の深まりを感じる頃となりました。過ごしやすい季節になりましたね。と言いたいところですが、すっかり秋の花粉症を忘れちゃってました。新型コロナ対策でマスクはしっかり着用でしたが、目が…目薬が手放せません(;v:)

■■第16回中国ブロックバウンドテニス選手権大会■■

**日時**：2020年12月13日(日) 9:00~17:00 (参加人数により変更する場合があります)

**会場**：広島市佐伯区スポーツセンター

**種目**：男子・女子 ダブルスとシングルス (ともにフリー、ミドル、シニアの3部門)

※試合は全種目トーナメント方式で行う。(参加数によって変更する場合もある)

**参加資格**：中国ブロック各県協会に登録済みの選手

**参加費**：ダブルス 4,000円/1組 シングルス 2,000円/1名

※今回、弁当の注文は受け付けていません。

\*\*\*\*\*参加申込締切り 10月28日(水) 必着\*\*\*\*\*

—各種目で中国ブロックチャンピオンを決定いたします

優勝者には『第39回全日本バウンドテニス選手権大会』の出場権が与えられます —

◆第31回もみじカップバウンドテニス大会◆

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため広島県内へのみ案内をして、1日開催とした「もみじカップ大会」、10月4日(日) 県内選手48名が参加して、今年度初めての大会として佐伯区スポーツセンターで開催いたしました。

女子ダブルス・男子ダブルス各2コース、久々の大会で大いに楽しみたいところでしたが、新型コロナの影響で感染防止対策を講じての大会となり、試合終了ごとに用具の消毒作業！ これまでにないことでいろいろご負担もあったかと思えます。が・・・そういった皆様のご協力のおかげをもちまして、開催日から2週間が何事もなく経過し、やっと「無事に終わることができました！」とご報告することができます。参加者・役員の方のご協力に改めて感謝いたします。ありがとうございました<(\_)> 今後も、安心してご参加いただけるよう大会での感染防止対策はもちろんですが、一人ひとり基本的な感染予防をしっかりと行なって、これからもバウンドテニスの大会が開催できるよう頑張りましょう！！

<女子A> 優勝 谷口 幸子・古川 明美 (廿日市・広島市), 準優勝 樋岡・國宗, 第3位 木村・松本

<女子B> 優勝 長岡 友子・日宇 伸子 (廿日市), 準優勝 長岡・増本, 第3位 中野・伊勢崎

<男子A> 優勝 竹下 康裕・谷村 兼次 (広島市), 準優勝 青木・河本, 第3位 河本・田中

<男子B> 優勝 小林 司郎・喜田 健 (広島市), 準優勝 河野・山谷, 第3位 平原・国元

◆基本的な感染予防◆ —うつらないために うつさないために— (厚生労働省, 広島県 HP より抜粋)

①3つの密(密閉・密集・密接)を避ける

②体調管理(体調の悪い場合は外出しない)をする

・普段からバランスの取れた食事と十分な睡眠を心がけ免疫力を高める。

・特にこれからの季節では、のどの粘膜の防御機能が低下しないよう湿度の管理(50~60%)をする。

③マスクをする

④こまめな手洗い ※正しい手洗いを実践しましょう

⑤咳エチケットを徹底する

⑥人との距離を空ける

お互いの距離は、互いに手を伸ばしたら届く範囲以上にあげましょう。